

巡回展「博物館が支える日本の生物多様性の保全」実施報告書

記入日: 令和 8年2月3日

館名・団体名	のと海洋ふれあいセンター
部署・担当者氏名	普及課 課長 東出幸真

1. 開催概要

開催期間

令和 7年 12月 19日(土) ~ 令和 8年 1月31日(土)

開催日数: 34日

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 112.7 m²

開催の様子 (写真)



一般来館者の様子

2. 開催にあたって

開催までのながれ (設営・撤去における対応スタッフ数)

令和 7年 12月 18日	展示物搬入
令和 7年 12月 18日 ~ 令和 7年 12月 18日	設営(3 人)
令和 7年 12月 19日 ~ 令和 8年 1月 31日	開催
令和 8年 2月 1日 ~ 令和 8年 2月 1日	撤去(4 人)
令和 8年 2月 3日	展示物搬出(雪の影響で5日着)
内容および運営上の工夫があればご記入ください	

ライチョウの白山での絶滅について、下記のとおり表示した。

- ・江戸時代や明治時代に白山でライチョウが生息
- ・昭和20年代以降に、白山のライチョウは姿を消した
- ・約70年後の平成21年、白山で ライチョウのメス1羽を確認
→ 平成28年を最後に確認されず

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

事前の想像と違っていたという意見をいただくことが多かったです
(クニマスの標本について、思っていたよりも小さかったなど)

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

 **NOTO MARINE CENTER**
国立科学博物館 巡回展
in のと海洋ふれあいセンター

日本列島は、世界の中でも生き物の多様性が高い地域の一つであり、他の地域では見ることできない生き物がたくさん暮らしています。本展では、生物多様性について解説するとともに、博物館による生物多様性保全の方策等に、写真や標本、映像を交えながら紹介します。

【展示の見どころ】

- ・写真や標本、映像で紹介する日本の生物多様性
- ・クニマス剥製、ツクバハコネサンショウウオ模型
- ・サクラソウ、コシガヤホシクサの樹脂標本
- ・映像展示「筑波山塊の固有種」

「コシガヤホシクサの一生」

【展示期間】

令和7年 12月19日 (金) から
令和8年 1月31日 (土) まで

【会場】 のと海洋ふれあいセンター
海の自然体験館 石川県鳳珠郡能登町越坂3-47
TEL : 0768-74-1919 E-mail : nmci@notomarine.jp

【開館時間・休館日】 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日：月曜日
※年末年始(12月29日~1月3日)は休館です

【見学科】 無料
本館見学および貝殻工作・塩づくり体験は入館料210円(高校生以上)が必要です

【主催・協力・後援】
主催：のと海洋ふれあいセンター 国立科学博物館
協力：一般財団法人全国科学博物館振興財団
後援：石川県教育委員会 輪島市教育委員会
珠洲市教育委員会 穴水町教育委員会 能登町教育委員会

博物館が支える

日本の生物多様性の保全



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



* この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただきます。